

撮影・文 薮重幸
無断で複写・転載することはお控えください。

平城宮跡

野鳥に恋するミニ図鑑Plus

このサイトは「野鳥に恋するミニ図鑑」で掲載できなかった
鳥や平城宮跡の自然の魅力を紹介します。



Autumn

表紙の鳥 ハクセキレイ

秋の野鳥観察について

夏鳥と冬鳥が交錯する秋は春と並んで最も多くの鳥を観察できる季節です。宮跡では9月に入ると南の越冬地に向かう旅鳥が姿を見せはじめ、10月にはアリスイなどの冬鳥も到着します。その頃、水上池にはここで冬を越す水鳥たちが次々に飛来し、早朝にはオシドリが群れで飛ぶ姿も観察されるようになります。

「ミニ図鑑Plus秋編」では秋の宮跡でお勧めの4つのテーマを中心に紹介します。

*鳥の撮影には望遠レンズを使用し、鳥との適切な距離を保っています。

アリスイ 第二次大極殿跡



◆ 秋の野鳥観察4つの楽しみ方

① 草原に注目しよう

秋は鳥の移動シーズンです。
渡り鳥は様々な環境で見られますが、特にヨシ原や
オギ群生地では多くの旅鳥や冬鳥の姿を見ることができます。



ノビタキ

③ 猛禽類を探そう

宮跡周辺では年間に約10種類の猛禽が確認されています。特に秋から冬にかけては猛禽類の種類と個体数が最も多くなるため、観察には最適の季節になります。



チョウゲンボウ（オス）

② 鳥の食べ物を観察しよう

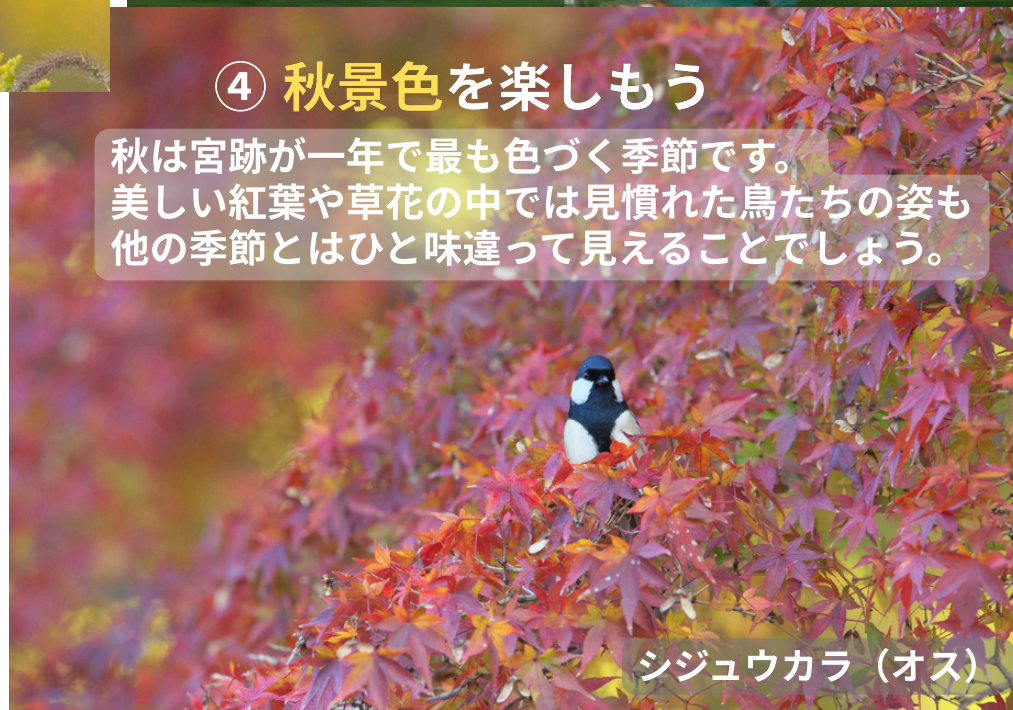
秋は実りの季節です。繁殖期を終えた鳥たちは
体力回復と厳しい冬を乗り越えるために、豊富な
秋の恵みで栄養を蓄えます。



カワセミ（オス）とタモロコ

④ 秋景色を楽しもう

秋は宮跡が一年で最も色づく季節です。
美しい紅葉や草花の中では見慣れた鳥たちの姿も
他の季節とはひと味違って見えることでしょう。



シジュウカラ（オス）

① 草原に注目しよう

宮跡のヨシやオギの群生地では一年を通してモズ、セッカ、ヒクイナなどの留鳥が暮らしており、秋にはそれに加えて旅鳥や冬鳥の姿が観察されるようになります。



モズ（オス） 東院庭園付近のオギとヨシの群生地

鳥にとって草原はエサとなる植物の種や虫が多いだけでなく、外敵からも身を隠せる
恰好の越冬場所です。

-代表的な草原の冬鳥たち-



越冬地に向う旅鳥にとって宮跡は貴重な旅の中継地です。旅鳥たちは渡りの途中で宮跡にしばらく滞在し、たっぷりエサを食べて越冬地までの長旅に備えます。



ノビタキ（オス） 朱雀門付近の草原

ノビタキは宮跡の草原で最も目にする旅鳥で
10月末頃まで見ることができます。

ゲンゴロウブナ（ミサゴ） 水上池

ミサゴは魚食性のタカで、魚を見つけると上空から豪快にダイブしてつかみ捕ります。宮跡周辺には水上池をはじめ古墳の環濠や水田など、様々な水環境が残されています。



②鳥の食べ物を観察しよう

宮跡に鳥が多い理由のひとつは、宮跡周辺に多様な自然環境が残され、そこに鳥たちが生きるためのエサが豊富にあるからです。ここでは鳥たちの秋メニューの一部を紹介しましょう。

- 魚類と水辺の生きもの -

●：外来種



●ブルーギル (ミコアイサ)



モツゴ (カイツブリ)



●オオクチバス (カワウ)



●タウナギ (ダイサギ)



フナ (ヘラサギ)



ヨシノボリ (カワセミ♀)



ツチガエル (ヒクイナ)



●ウシガエル (アオサギ)



スジエビ (ササゴイ)

- 植物と小さな生きもの -



クルマバッタモドキ（チョウゲンボウ） 大極殿付近

宮跡周辺には古墳の森、林、ヨシ原、草原など多様な植物環境があり、鳥たちはそこからエサとなる様々な植物の種や昆虫などを得ることができます。

- 植物と小さな生きもの -



クロナガアリ (アリスイ)



ユスリカの仲間 (メジロ)



ツユムシの仲間 (セッカ)



センダンの実 (ヒヨドリ)



カキの実 (コゲラ)



セイタカアワダチソウの種 (ベニマシコ)



ナンキンハゼの実 (キジバト)



ネズミモチの実 (ヒレンジャク)



モミの種 (シメ)

③ 猛禽類を探そう

宮跡周辺では年間約10種類の猛禽類が確認されています。
かつてはフクロウの仲間であるコミズクが冬の宮跡を代表する猛禽でしたが、
草原の減少とともに今ではほとんど見られなくなっていました。

オオタカ（メス） コナベ陵

オオタカは一年を通して見ることができる猛禽で春には古墳の森で繁殖もしています。



ハイタカ♂（冬鳥） 越冬数が最も多い猛禽です



トビ（留鳥）
宮跡周辺ではあまり見られません



ノスリ（冬鳥） 毎年数羽が越冬します



ハイイロチュウヒ♀（冬鳥） まれにヨシ原で越冬します



ハチクマ（夏鳥）
春秋の渡り途中、まれに立ち寄ります



チョウゲンボウ^{♂ ♀}（留鳥）
一年を通して最も見る機会の多い猛禽です



ミサゴ（留鳥） 主に越冬期の水上池で観察されます



ハヤブサ（留鳥） まれに観察されます

④ 秋景色を楽しもう

秋は鳥の換羽期にあたり、多くの種類が冬の羽毛に生え替わります。
新しい衣装をまとった鳥たちは秋景色の中で更に美しく見えるでしょう。



キセキレイ タヌキモの一種 水上池付近



ジョウビタキ♂



セッカ



クサシギ



アリスイ



モズ♂

アリスイは宮跡で一、二を争う人気者。
主にアリをエサにする少し変わったキツツキの仲間です。

秋は水鳥の季節のはじまりです。越冬期の水上池ではカモ類を中心に毎年10種類を超える水鳥が観察されています。



オシドリ 水上池

メスを追いかけるオスたち。
早くもパートナー選びが始まっています。

◆ 秋の終わり

11月、オギやススキが銀色の綿毛を飛ばし始め、平城山丘陵が紅葉に染まる頃
宮跡には冬の足音が近づいてきます。



◆秋の野鳥観察マップ

＊ 公園無料駐車場の利用時間は
AM8：30からPM17：00まで

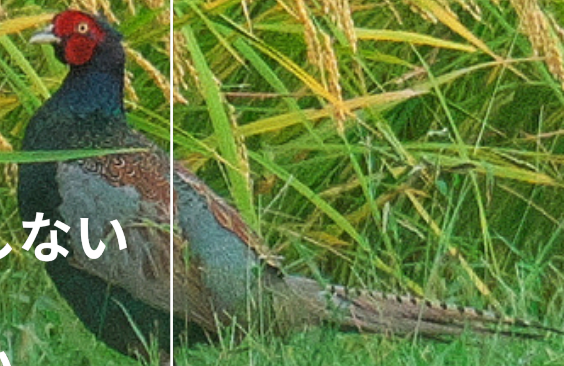


◇おわりに

このサイトでは平城宮跡で生きる鳥たちをご紹介してきましたが、鳥たちはとても臆病で人を見ると怖がって隠れてしまいます。どうか野鳥と出会ったときは優しい気持ちで、そっと静かに観察してください。

< 野鳥および自然観察のマナー >

- 野鳥との距離を保つ
- 鳥の巣には近寄らない
- 生き物や植物を採取しない
- 生き物への餌付けなどのおびき寄せ行為をしない
- 公園の定める進入禁止区域に立ち入らない
- 他の来園者の迷惑になる行為をおこなわない
- ゴミは必ず持ち帰る



— 鳥たちとの素敵な出会いがありますように —